

2018年1月23日

各位

 株式会社プライムューン
 株式会社ジェネティックラボ

自己採取HPV検査サービス「PAP I'Q s s (パピックス)」サービス
特設PRブース開設のお知らせ

トランスジェニックグループの株式会社プライムューン（代表取締役社長：福永健司、兵庫県神戸市）および株式会社ジェネティックラボ（代表取締役社長：福永健司、北海道札幌市）は、医療用品の製造販売を行っているアイエスケー株式会社（代表取締役社長：中島実佳、東京都文京区）と共同で、受検者自身が細胞を採取し専門の検査機関に郵送するだけで、子宮頸がんの原因であるハイリスク型ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染の有無をWEB上で確認することができる子宮頸がんリスク検査サービスをより多くの方々に知っていただくため、都内百貨店におきまして特設PRブースを開設いたしますので、お知らせします。

【PAP I'Q s s サービス概要】

本サービスは、一般の方がインターネットで申し込み、ご自身で採取した子宮頸部の細胞を検査機関へ郵送し、発がん性のHPV^{*1}が存在するか否かの検査を受け、その検査結果をインターネットで確認できる検査サービスです。

検査に使用する検査キットは、日本人女性を対象にアイエスケー株式会社が開発し、医療機器として承認を受けている自己採取器具であり、安心して使用できます。検査はCAP（米国病理学会）の認定ラボを有する株式会社ジェネティックラボにて実施いたします。

一般的なHPV検査は、病院において医師による細胞採取によって細胞診と併用で行われますが、ジェネティックラボでは独自に複数の婦人科医療機関に協力をあおぎ、自己採取HPV検査の有効性について検証を行いました。その結果、当サービスで使用する検査キットによる自己採取法において、医師採取でのHPV検査の判定結果との一致率は96.5%^{*2注}と、ほぼ同等の検査結果が得られております。当サービスはHPV感染の単独検査となりますが、細胞診で発見される子宮頸がん^{*3}の原因となる発がん性HPVの感染の有無を、自宅で手軽に確認できる検査は非常に有用であると考えております。また、当サービスで使用する解析機器は、FDA（米国食品医薬品局）が承認している機器であり、トランスジェニックグループならではの高品質な検査サービスを提供いたします。

【特設PRブース開設概要】

開設場所： OIOI 新宿マルイ 本館
 東京都新宿区新宿 3-30-13 地下1階
 開設期間： 2018年2月10日（土）～11日（日） 11:00～20:00

みなさまのご来場をお待ちいたしております。

【用語解説】

- ^{*1} 発がん性HPV ヒトの皮膚や粘膜に感染するパピローマウイルスのことで、そのうちハイリスク型と呼ばれるものは子宮頸がんの原因になると考えられています
^{*2} 注 各機器メーカーが推奨する細胞回収容器の仕様によって、検出率は変動することがあります
^{*3} 子宮頸がん 子宮頸部（子宮の入り口）に発生するがんのことです

お問い合わせ先

株式会社ジェネティックラボ 病理部営業課
 〒060-0009 北海道札幌市中央区北9条西15丁目28-196 札幌ITフロントビル3F
 E-MAIL: sales@gene-lab.com <http://www.gene-lab.com/>